

令和6年6月第7回定例会 一般質問表

順番	質問日	質問者	件名及び要旨
1	6月12日(水) 1番	宇野 晶	<p>1. 市長、副市長及び教育長の基本政策等について</p> <p>(1) 市長が副市長及び教育長に求める役割は</p> <p>(2) 副市長の政策及び教育長の教育方針は</p> <p>2. 防災・減災対策における防災士の育成等について</p> <p>(1) 防災士の組織化の状況は</p> <p>(2) 今後の防災士育成の方針は</p> <p>(3) 避難行動要支援者支援制度の登録状況は</p>
2	6月12日(水) 2番	高野 一成	<p>1. 持続可能な財政運営について</p> <p>(1) 市税の収納、滞納、不納欠損の現状と対策は</p> <p>(2) ふるさと納税の推移と収入増への策は</p> <p>(3) 資金運用による収益額の現状と見通しは</p>
3	6月12日(水) 3番	川口 樹里	<p>1. 不登校児童・生徒やその家族への対応、対策について</p> <p>(1) 令和5年度の小・中学校の不登校状況は</p> <p>(2) 不登校児童・生徒やその家族への対応は</p> <p>(3) スクールソーシャルワーカーの関りは</p> <p>(4) 不登校児童・生徒の健康診断の状況は</p>
4	6月12日(水) 4番	吉岡 正晴	<p>1. やさしい窓口づくりの取組について</p> <p>(1) 軟骨伝導イヤホンの窓口設置はできないか</p> <p>2. 自殺対策の取組、推進について</p> <p>(1) 自殺者の推移、自殺の傾向は</p> <p>(2) 筑後市健康づくり計画における取組は</p> <p>(3) 若年層世代への対策は</p> <p>(4) 今後の推進は</p>

令和6年6月第7回定例会 一般質問表

順番	質問日	質問者	件名及び要旨
5	6月13日(木) 1番	山下 秀則	<p>1. 救急・救助体制及び救命率向上へつながるAEDの活用について</p> <p>(1) 救急体制の現状と課題とその対応は</p> <p>(2) AEDの設置数(民間含む)は</p> <p>(3) AED普及向上のための講習会の状況は</p> <p>(4) AEDに三角巾の導入はできないか</p> <p>(5) 無料アプリ救命サポーター「team ASUKA」の普及啓発は</p> <p>2. 筑後市病児保育施設「ちっこハウス」について</p> <p>(1) 市の病児保育施設の設置目的と現状は</p> <p>(2) 令和5年度から県内の病児保育が無償化されたが影響は</p> <p>(3) 無償化による利用者のニーズ調査と病児保育の課題は</p> <p>(4) 病児保育の申請手続きのオンライン化導入について</p> <p>(5) 病児保育送迎支援について</p>
6	6月13日(木) 2番	大石 昭彦	<p>1. 学校部活動の地域移行について</p> <p>(1) 学習カリキュラムにおける位置付けは</p> <p>(2) 地域との連携や受け皿となる環境は</p> <p>2. 行政サービスの利便性向上について</p> <p>(1) コンビニ交付における効果と検証は</p> <p>(2) 情報発信におけるウェブアクセシビリティの認識について</p>
7	6月13日(木) 3番	富安 伸志	<p>1. 部活動の地域移行の取組について</p> <p>(1) 部活の指導員を昨年度より配置しているが、現状と課題は</p> <p>(2) 今後の方向性は</p> <p>2. 中心部循環バスの運行について</p> <p>(1) 目的と背景は</p> <p>(2) 運行にあたっての需要予測と財源は</p>

令和6年6月第7回定例会 一般質問表

順番	質問日	質問者	件名及び要旨
8	6月13日(木) 4番	貝田 弘子	<p>1. 安全安心な生活環境の整備について</p> <p>(1) 有機フッ素化合物(PFAS)汚染への対応について</p> <p>2. 地方自治について</p> <p>(1) 地方自治法改正案について市の見解は</p> <p>(2) 地方自治体の業務負担について</p>
9	6月14日(金) 1番	矢加部 茂晴	<p>1. 人口問題と少子化対策について</p> <p>(1) 本市の将来人口等の分析をどのように捉えているか</p> <p>(2) 出生数減少をどう受け止めているか。また、庁内に設置した「少子化対策プロジェクト」の進捗状況は</p> <p>(3) 市として、一人ひとりの子どもや子育て家族を地域全体で支える意思を示すことが必要では</p> <p>2. 人事管理について</p> <p>(1) 本市における早期退職の状況や対応は</p>
10	6月14日(金) 2番	石橋 章	<p>1. カスタマーハラスメントへの対策について</p> <p>(1) 本市職員に対する著しい迷惑行為(カスハラ)の状況は</p> <p>(2) 「カスハラ対策マニュアル」の策定は</p> <p>(3) カスハラと、正当な要求との線引きは難しいが、どう判断するか</p> <p>(4) 有事の際の、警察や弁護士等、専門への連携、相談体制は</p>